

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
地域共創学群	人間社会学域	夜・通信	20	59		79	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#shugaku-shien
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人 札幌大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

【ホームページ】学校法人札幌大学 事業報告「令和元年度（2019年度）事業現況」 理事・監事・評議員等一覧 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report
【印刷物】「平成30年度（2018年度）事業報告・令和元年度（2019年度）事業現況」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社役員	2017.4.1 ～ 2019.11.15	経営計画の策定
非常勤	株式会社役員	2015.11.16 ～ 2019.11.15	組織運営体制へのチェック機能
(備考) 学外者は7名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業科目担当者に対し以下の項目に関して記載すべき事項を示した「シラバス入稿要領」を11月下旬に旬配布し、シラバス作成を依頼。</p> <p>「成績評価」項目については、規程に則りかつ評価割合を明記するよう依頼するとともに具体例を示している。</p> <p>【シラバス記載事項】</p> <p>① テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー</p> <p>1月末の入稿期限後、学長を総責任者としたシラバス確認作業の体制をとり、全授業科目のシラバスの点検を行っている。</p> <p>【確認体制】</p> <p>総責任者：学長</p> <p>実務責任者：教務担当副学長、FD・SD担当副学長補、学生支援部長</p> <p>点検担当者：専攻長、教授・入試委員、教務担当副学長、FD・SD担当副学長補</p> <p>以上の過程を経て、3月下旬にWEB上で公開し、1年次開設科目については冊子を作成し、新入生にガイダンスにおいて配布している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>【ホームページ】 シラバス</p> <p>http://syllabus.sapporo-u.ac.jp/index.html</p> <p>【総合学生支援システム(アイトス)】 シラバス</p> <p>【印刷物】 講義要綱(シラバス)</p> <p>※1年のみガイダンスで配布</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。

これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。

シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則において、「学業成績は、AA、A、B、C、D及びEに分け、AA、A、B及びCを合格とし、合格した授業科目については、所定の単位を与える。」と定めている。

履修に関する学務規程において、「学業成績による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点(GPA)を用いる。GPAは、学業成績のうち、AAにつき4.0、Aにつき3.0、Bにつき2.0、Cにつき1.0、D及びEにつき0.0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する。」と客観的な指標を設定し、添付資料のとおり、成績の分布状況を把握している。

<成績評価基準>

区分	評価	成績評価基準	G P	評価内容
合格	AA	100～90点	4.0	特に優れた成績を示した
	A	89～80点	3.0	優れた成績を示した
	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績を示した
	C	69～60点	1.0	合格と認められる最低限の成績を示した
不合格	D	59点以下	0.0	合格と認められるに足りる成績を示さなかった
	E	未受験等	0.0	未受験等により、評価できない

<GPA算出方法>

$$\frac{4.0 \times \text{AAの修得単位数} + 3.0 \times \text{Aの修得単位数} + 2.0 \times \text{Bの修得単位数} + 1.0 \times \text{Cの修得単位数}}{\text{総履修登録単位数(「D」「E」の単位数を含む)}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

【ホームページ】成績評価・GPA制度について

<https://www.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study/>

【規程】札幌大学履修に関する学務規程

【総合学生支援システム(アイトス)】履修のてびき

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生氣に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。</p> <p><知識・理解></p> <p>言語、歴史、自然、文化、政治、経済、産業、社会、法制度、地域、国際、スポーツの諸側面から人間と社会に関する理解を深め、急激な変化を繰り返す21世紀の社会に対し、持続的かつ総合的に対処できる広い視野と知識を身につけていること。</p> <p><関心・意欲></p> <p>地域の政治、経済、産業、社会、文化の発展を希求し、経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使してその推進に貢献する意欲を身につけていること。</p> <p><技能・表現></p> <p>基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、情報を収集・分析する技能と、それを分かり易く表現する能力を身につけていること。</p> <p><態度・志向性></p> <p>地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち「地域共創力」を身につけていること。</p> <p>以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ・履修のてびきにおいて公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
収支計算書又は損益計算書	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
財産目録	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
事業報告書	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
監事による監査報告(書)	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:) 対象年度:)
公表方法:
中長期計画(名称: 札大みらいフロンティア・プラン 対象年度: 2019年度~2023年度)
公表方法: 【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 【ホームページ】 大学評価 自己点検・評価報告書 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/evaluation/ 【刊行物】 平成29年度 大学機関別認証評価 自己点検評価報告書
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 【ホームページ】 大学機関別認証評価 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/evaluation/#certification
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域共創学群
教育研究上の目的（公表方法： 【ホームページ】 教育研究上の基本的な情報 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/ 経済学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-keizai.html#cp_kz 地域共創専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-sousei.html#cp_ss 経営学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-keiei.html#cp_ke 法学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-hougaku.html#cp_hg 現代政治専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-seiji.html#cp_sj 英語専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-english.html#cp_en ロシア語専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-russian.html#cp_rus 歴史文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-history.html#cp_his 日本語・日本文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-japanese.html#cp_jp 中国語・中国文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-chinese.html#cp_ch 異文化コミュニケーション専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-communication.html#cp_com スポーツ文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-sports.html#cp_sp リベラルアーツ専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-liberalarts.html#cp_lb 建学の精神・教育目標・教育方針 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/spirit.html#educational-goal)
(概要) 建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、次の 3 つの教育目標とそれに連なる 5 つの教育方針を掲げ、教育改革、研究活動や社会貢献の推進、学生サービスの向上を目指している。 教育目標 「生氣あふれる人間」の育成 「知性豊かな人間」の育成 「信頼される人間」の育成 教育方針 1. 北海道から世界へはばたく、視野の広い人間を育てます。 2. 個性をみがき、夢の実現を目指す人間を育てます。 3. 幅広い教養をもち、人生を豊かにできる人間を育てます。 4. 地域を愛し、社会貢献の意欲に富んだ人間を育てます。 5. 環境に配慮し、未来に責任をもつ人間を育てます。
卒業の認定に関する方針（公表方法：

【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html>

)

(概要)

学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生氣に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

<知識・理解>

言語、歴史、自然、文化、政治、経済、産業、社会、法制度、地域、国際、スポーツの諸側面から人間と社会に関する理解を深め、急激な変化を繰り返す 21 世紀の社会に対し、持続的かつ総合的に対処できる広い視野と知識を身につけていること。

<関心・意欲>

地域の政治、経済、産業、社会、文化の発展を希求し、経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使してその推進に貢献する意欲を身につけていること。

<技能・表現>

基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、情報を収集・分析する技能と、それを分かり易く表現する能力を身につけていること。

<態度・志向性>

地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち「地域共創力」を身につけていること。

以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ・履修のてびきにおいて公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2 月末に卒業判定を行っている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

【ホームページ】

札幌大学 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]

<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html>

)

(概要)

学位授与の方針を踏まえ、自由な学びを通じて主体性を育み、総合的な教養を涵養するために、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行います。

- 1 全学共通の基盤教育科目と全学に開放された専門科目を配置し、多様な学びを提供します。
- 2 基盤教育科目では、豊かな教養とグローバル世界に対応できる語学力、社会人としての基礎知識を身につけるための科目を配置します。
- 3 専門科目では、主専攻の深い専門性を担保する科目を配置すると共に、副専攻をも視野に入れた専攻の枠にとらわれない科目群を提供します。
- 4 地域を共に創造する「地域共創」の理念を、自ら考え行動し体験知として身につけるため、アクティブラーニングを重視します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

【ホームページ】

札幌大学 入学者受入れの方針 [アドミッション・ポリシー]

<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html>

【印刷物】受験ガイド

)

豊かな教養と確かな実践力を備え、他者と協力し、未来を切り拓き、地域や世界へはばたこうとする意欲的で多様な価値観をもつ学生を求めています。

そのため、以下のような資質・能力・意欲を持った人物を入学者として受け入れています。

- ・ 特定の教科にとらわれず幅広く学習した基礎学力に加えて、得意な教科を有していること。
- ・ 英語・簿記・情報関連等の資格・検定の取得成果を有していること。
- ・ 課外活動、生徒会活動、ボランティア活動等を通して、主体性、協働性を発揮していること。

この方針に基づき、次のような多様な入試制度を用意しています。

- ・ 「一般入学試験」「大学入試センター試験利用入学試験」では、札幌大学で学ぶ上での基本的な能力をみるために、高等学校等における学習（成果）を評価しています。
- ・ 「推薦入学試験」では、高等学校等における学習歴や探究歴、学ぶ目的・意欲、社会常識、将来の目標等を評価しています。
- ・ 「特別入学試験」では、取得資格、課外活動等における成果、または地域貢献活動や課題応答の必要な育成型入試への参加等、本学での修学によって社会貢献が見込まれる活動（成果）を積極的に評価しています。

学力試験

1. 一般入学試験

本学が実施する2教科2科目の筆記試験によって判定します。

なお、A日程において3教科3科目の筆記試験の成績による特待生入試(A日程ハイレベル)、奨学生入試(A日程入学・奨学生)を実施します。

A日程においては、基礎学力を持ち、加えて得意な教科を持つ生徒を受け入れます。

B日程においては、基礎学力を含む、学力の三要素を総合的に判断します。

A日程ハイレベルにおいては、特待生にふさわしい高い学力を持つ生徒を受け入れます。

A日程入学・奨学生においては、経済的支援の検討対象となる者を対象とし、高い学力を持つ生徒を受け入れます。

なお、A日程入学・奨学生の合格者のうち、総合点が基準点以上の者を対象に、筆記試験の成績、取得した資格(実用英語技能検定、TEAP、GTEC CBT)の総合点により、高い学力と語学力を備えた者を奨学生候補者として選考します。

2. 大学入試センター試験利用入学試験

A、B、C、D日程とも大学入試センター試験の2教科2科目の成績によって判定します。

なお、A日程において3教科4科目の成績による特待生入試(A日程ハイレベル)を

実施します。

A、B、C、D日程とも多様な基礎学力をもつ生徒を受け入れます。

A日程ハイレベルにおいては、特待生にふさわしい高い学力を持つ生徒を受け入れます。

推薦入学試験

1. 推薦入学試験 指定校制

本学が指定する高等学校もしくは中等教育学校における学業成績が、本学の指定した基準を満たし、学校長が推薦する志願者を対象にし、書類審査と個人面接による総合判定を行います。多様な学習歴に配慮し、多様な得意教科を持つ生徒を受け入れます。

2. 推薦入学試験 公募制

高等学校もしくは中等教育学校における学業成績が、本学の指定した基準を満たし、学校長が推薦する志願者を対象にし、書類審査、個人面接の総合評価による合否判定を行います。

多様な学習歴に配慮し、得意な教科を持つ、または幅広い学修成果をあげ、学ぶ目的、意欲、社会常識、将来の目標等が明確な生徒を受け入れます。

公募制ハイレベルにおいては、高い学力を有し、社会に強い関心を持つ生徒を受け入れます。

特別入学試験

1. 自己推薦特別入学試験[資格]

A、B、C、D日程とも、多様な学習歴に配慮し、一定の資格を取得している生徒を対象とし、調査書・資格、個人面接の総合評価によって合否判定を行います。

A、B、C、D日程とも主体性、指導性に優れ、意欲に満ち、個性豊かで、勉学においてその能力を発揮できる、学ぶ目的、意欲、社会常識、将来の目標等が明確な生徒を受け入れます。

2. 自己推薦特別入学試験[活動]

A、B、C、D日程とも、多様な学習歴に配慮し、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動等において成果をあげた志願者を対象とし、調査書・活動成果、個人面接の総合評価によって合否判定を行います。

A、B、C、D日程とも、主体性、指導性に優れ、意欲に満ち、個性豊かで、勉学においてその能力を発揮できる学ぶ目的、意欲、社会常識、将来の目標等が明確な生徒を受け入れます。

3. 自己推薦特別入学試験[入学・奨学生]

A、B、C日程とも、多様な学習歴(職業学科、総合学科等)に配慮し、資格取得において成果をあげ、経済的支援の検討対象となる者を対象とし、調査書、個人面接の総合評価によって合否判定を行います。

なお、合格者のうち調査書、個人面接、取得資格の総合点によって奨学生候補者を選考します。

4. 課外活動推薦特別入学試験

10月、A、B、C日程とも、課外活動において成果をあげ、高等学校長および本学顧問が推薦した生徒を、書類審査と個人面接による総合判定を行います。

10月、A、B、C日程とも、「学業」と「スポーツ・文化活動」を両立させ、個性豊かで活力にあふれ、優れた競技力を持ち目標に向かって努力する生徒を受け入れます。

5. アクションプログラム特別入学試験

北海道の先住民族であるアイヌの歴史・文化を理解し、多文化共生社会の担い手を目指す「ウレシパプログラム」での修学を強く希望し、意欲に満ち、個性豊かで、勉学や学生生活においてその能力を発揮できる生徒を受け入れます。

書類審査・活動成果と個人面談の総合評価によって合否判定を行います。

6. 学友推薦特別入学試験

多様な学習歴に配慮し、本学の発展または地域貢献に寄与する本学学生の活動に興味を持ち、その活動を行う学生から推薦を受ける者に対し、出願資格を認めます。ただし、当該活動が本学未公認のものである場合は、出願資格の認定を事前に申請し、学長より出願の許可を受ける必要があります。合否の判定は、調査書を含む書類審査及び個人面接により総合的にを行います。

7. GAP 推薦特別入学試験

多様な学習歴に配慮し、本学入学までの期間（ギャップターム）に留学や社会体験活動に取り組む計画によって、主体的な学習者としての意欲と資質（企画力、忍耐力、適応能力、時間管理能力等）を示す者に対し、出願資格を認めます。合否の判定は、調査書を含む書類審査及び個人面接により総合的にを行います。

8. 社会人特別入学試験

受験日を含む年度内に満21歳以上に達し、社会人として通算2年以上の実務経験を有し、本学の指定する出願資格を満たした者、あるいは通算2年以上の社会経験（正社員、自営業従事者、契約社員、長期アルバイト等の経験、主婦）を有し、学ぶ目的、意欲、社会常識、将来の目標等が明確な者を受け入れます。

個人面接によって総合的に合否判定を行います。

9. 海外帰国生徒特別入学試験

日本国籍を有し、外国の教育課程を修了した者等で、本学の指定する出願資格を満たし、学ぶ目的、意欲、社会常識、将来の目標等が明確な者を受け入れます。

個人面接によって総合的に合否判定を行います。

その他

1. 私費外国人留学生入学試験

外国籍を有し、本学の指定する出願資格を満たし、学修意欲旺盛で、日本人学生の海外留学支援、各国留学生、地域住民との交流等、何事にも積極的な者を受け入れます。

書類審査、筆記試験（日本語または日本語・英語）、面接（日本語または日本語・英語）により総合的に合否判定を行います。

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： 【ホームページ】 教育研究上の基本的な情報 http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
地域共創学群	—	59人	10人	1人	人	人	70人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		122人					122人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ【教員組織、各教員が有する学位及び業績】 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>・2018年度において、「教学関連データによるIR実践」、「授業改善・自立支援を考える」をテーマとしたFD研修会を実施した。2019年度においてはルーブリックに関する研修会を予定している。</p> <p>・FD研修会の実施 教育内容の向上、教育職員の資質向上を目的として学内講師・学外講師による研修会を実施。</p> <p>※平成30年度実施テーマ 「授業改善・自立支援を考える～脳の機能と発達の特徴から学生を理解する～」 「学生の特性を理解した授業対応、社会性の発達・自己理解と学修力の向上は表裏一体」 また、第24回FDフォーラム（平成31年3月開催、京都）などの学外研修会にも積極的に参加。</p> <p>・学生による授業改善アンケート調査の実施 各授業科目とも、実施学期の中間および期末の2回にわたり調査を実施。</p>							

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域共創学群	900人	744人	82.7%	3,600人	2,720人	75.6%	若干名	4人
合計	900人	744人	82.7%	4,100人	2,722人	66.4%	若干名	4人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域共創学群	566人 (100%)	8人 (1.4%)	453人 (80.0%)	105人 (18.6%)
合計	566人 (100%)	8人 (1.4%)	453人 (80.0%)	105人 (18.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 東京外国語大学大学院、北海道大学大学院、国家一般職 札幌法務局、公立学校教員、北海道警察、一般財団法人アイヌ民族博物館、イオン北海道株式会社、ANA新千歳空港株式会社、株式会社かんぽ生命保険、日本郵便株式会社、株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行、北海道旅客鉄道株式会社、六花亭製菓株式会社、全国農業協同組合連合会				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学数	修業年限期間内 卒業数	留年者数	中途退学者数	その他
地域共創学群	698人 (100%)	496人 (71.1%)	67人 (9.6%)	88人 (12.6%)	47人 (6.7%)
合計	698人 (100%)	496人 (71.1%)	67人 (9.6%)	88人 (12.6%)	47人 (6.7%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目担当者に対し以下の項目に関して記載すべき事項を示した「シラバス入稿要領」を配布し、シラバス作成を依頼。</p> <p>【シラバス記載事項】</p> <p>①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー</p> <p>WEB上で公開し、1年次開設科目については冊子を作成し、新入生にガイダンスにおいて配布。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。</p> <p>これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。</p> <p>シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域共創学群	人間社会学域	124 単位	有・無	40 単位
経営学部	経営学科	128 単位	有・無	48 単位
法学部	法学科	128 単位	有・無	44 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		<p>公表方法：学則、履修に関する学務規程に定める成績評価基準に従い、各評価にGPを与え、学期・通算のGPAを算出している。</p> <p>各セメスターの履修限度単位数を20単位に定めている。</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study/</p> <p>本学独自の奨学金選考の際にも活用している。</p>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>【ホームページ】校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境</p> <p>http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
地域共創 学群	人間社会 学域	770,000円	200,000円	120,000円	その他：施設設備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 【アドバイザー制度】 アドバイザー教員が担当学生との面談を実施し、修学相談や指導を行っている。 【学修支援センター】 基礎学力の養成、授業に対する理解度を深めるなど、学生の学修全般のケアを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 【キャリアサポートセンター】 個人面談：学年問わず、将来についての相談をいつでも受け付けます。進路についての悩みや不安はもちろん、履歴書の書き方、面接の練習なども応じている。卒業後も利用可能。 資格・検定・公務員試験の受験対策講座：多くの講座は学内で開講し、受講料も安く設定している。合格者へのキャッシュバック講座もあり、学生の意欲向上に繋がっている。 【就職講座】 就職活動はいつ、何からスタートすればいいのか。自分を知る・相手を知ることを目的に、就職活動の流れから合同企業説明会の有効活用術までを支援する。 【インターンシップ】 派遣先は「北海道地域インターンシップ推進協議会」を通じた企業の他に、学生の選択肢が広がるよう積極的に大学が受け入れ先も開拓している。インターンシップ講座も実施しており、インターンシップの拡大・充実を図っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 【学生相談室】 学生生活の中で起こってくるさまざまな問題について、よりよい方法を一緒に考え、より充実した学生生活を送れるように支援している。学生本人だけではなく、保護者の方や大学の先生方からの相談にも応じ、専門員や専任職員がプライバシーに配慮した上で一緒に考えている。専門員に相談できるほか、週に一度の精神保健相談日に精神科医師による相談も受けることができる体制をとっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：【ホームページ】教育研究上の基礎的な情報 http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/
--